

総務文教委員会会議録

1. 開催年月日

平成26年 7月18日 開会 9時55分 閉会 11時23分

2. 開催場所

委員会室

3. 出席委員名

西田久志 大鳴二郎 西村慎次郎 三宅文雄
藤原浩司 宮地俊則 森下金三

4. 欠席委員名

なし

5. その他の会議出席者

(1) 副議長 上野安是

(2) 事務局職員

事務局長 三宅道雄 事務局次長 岡田光雄
主任 藤井隆史

6. 傍聴者

(1) 議員 0名

(2) 一般 0名

(3) 報道 0名

7. 発言の概要

委員長（西田久志君） 皆さんおはようございます。

ただいまから総務文教委員会を開会いたします。

〈議長あいさつ〉

〈市民の声を聴く会での意見、要望について〉

〈回答案について協議〉

・番号1～18

〈決定〉

〈議会への提案について〉

〈回答案について協議〉

〈継続協議〉

〈所管事務調査〉

〈井原市における小・中学校の教育環境について〉

委員長（西田久志君） 先般の委員会におきまして、執行部からアンケート調査結果を資料として提出いただき、今後の分析、活用方法等につきまして協議を行っていただきました。アンケート調査結果につきましては、行政視察までに各委員で内容を把握していただくということに決定したところです。

そこで、本日はアンケート結果とさきの行政視察の内容を踏まえ、9月の課題の整理に向けて皆様に協議をお願いしたいと考えております。皆様のご意見を求めます。

それで、まずお手元の所管事務調査の調査事項、井原市における小・中学校の教育環境についてのA4の紙でございますが、その中で1、施設整備状況の調査、2、いじめ問題に関する調査、3、生活環境調査ということでございます。

この行程表の中に、9月に課題の整理を行うわけでございますが、その中で委員会としてここでちょっと皆様のご意見をお聞きしたいと思うんですけど、先般資料をいただきましたが、その整理という意味を含めましてこの1、2、3というものを全体で、この場の席でなく、要するに全員で考えてここで提出する、もしくは2人ないし3人で1つの施設状況の調査ならそれを2人でするかとかというふうにするというような案もございます。

というのが、物すごく膨大な資料をいただきましたので、それをまとめるのも大変なことだと思うんで、ここでは分けて皆さんに整理していただいて、ここで発表していただくというような形をとるか、もう個々に、先ほど言いましたが、全てを個々にしてここで言うかどうかというような案もあると思うんですけど、どうでございましょうか。

何か案がございましたら、教えていただきたいと思います。

委員（三宅文雄君） 委員長が今言われたのは、もう一回確認なんですけれども、この

1、2、3の3つの項目があって、委員がそれぞれ2人ないし3人ぐらいで分かれてそれぞれの項目についてするということによろしいのでしょうか。

委員長（西田久志君） 2人ないし3人ですから、その人が1番をするという、例えば西村さんと大鳴副委員長が1番をする、三宅委員と私が2番をする、また3人で3番をするとか。

委員（三宅文雄君） わかりました。それが1つの案ということですね。

委員長（西田久志君） と、全体を全て1人でやってみて、それを提出するという。

委員（宮地俊則君） それは、これとこれを持ってするんですか。それとも、例えば1であれば、施設整備状況、市内小学校13校、中学校5校の、例えば全部2人で調査して回るということですか。ちょっとイメージがもう一つ沸かんのですが。

委員長（西田久志君） あくまでも提出された資料でという思いがあるんですけど、私が決めていきょうるわけじゃないんで、ほかに意見がございましたらということですから、賛同も含め。

委員（宮地俊則君） ここに執行部から貴重な資料をいただいております。これらを目を通しとるんですが、これらをまとめて、例えば施設整備状況だったらこの中から抜粋して総体的にこういう意見が多いとか、井原市においてはこういう状況であるとかといったようなまとめをするんですか、それとも現地へ行ったりアンケートをとって、その2人に施設整備状況を調べて回れというような趣旨で言われとるのか、ちょっとその確認をさせていただきょうんですが。これからということによろしいのでしょうか。

委員長（西田久志君） そのことにつきましても皆さんのご意見をいただきたいということです。

委員（宮地俊則君） まず、今言ったように2人、3人、極端に言えば委員会全員で3つのことを市内全域を調査を、文字どおり受け取れば調査して回るということなんかだと、それが果たして現実問題可能なのかなという思いがまず一番にしております。じゃあ、再度どうすればというのは、今即答できませんけども。皆さんに聞いてみて。

委員長（西田久志君） 皆さんどうですか。

委員（藤原浩司君） それこそ膨大な資料をいただいた中で、全部目を通してみたんですが、やはり1つの学校を個々に見ていく中で、なかなかこの資料では把握しにくいんです、実際の話が。中にはそりゃわかる面もあります。わかりますけども、いじめ問題に対することとか、施設の整備の状況なんかはこの資料でほとんどわからないんです。生活状況の実態、生活環境の調査っていうのはこの資料の中でわかるんですが、そういった本当に一番子供たちに必要なところっていうのは、この目で見、この耳で聞き、この口で問わないといけ

ないと思うんです。ですから、今委員長が言われたように、3つある大きな課題を、人数7人ですか、総務文教委員の方々に分担してやってもらうのもいいですし、個々に、分担された中でも余分にするというのも踏まえてやっていただければいいんじゃないかなと。そうしないと、これを全員で動くとなかなか難しいもんがあるのかなという気もしますが、議長が言われるように負担が多いですから、13学校区へ行くということは負担が多いですから、学校を直接見るのも大切ですが、教育委員会に迷惑はかけると思うんですが、教育委員会のほうから聞き取りとかということを見せていただくか、13学校区あるんですが、かいつまんでぽっぽっぽと行くとか。行ったところ、この3つある中で施設の状況はどことどこどこと行く、いじめ問題は行ってないところはまたどこどこと行く、生活環境もまた行ってない小学校の3校ぐらいに行くというような形にとっていくべきではないかなと。全部が全部多分回れないと思うんで、人数少ないですから。そのような感じがいいんじゃないかなと思うんですが、教育委員会にはかなり迷惑はかけると思うんですが、ご協力いただかにゃいけんかなと思うわけでありませう。

委員長（西田久志君） 言うど、分けるという。

委員（藤原浩司君） そうです。

委員長（西田久志君） 全部するのではなく。

委員（藤原浩司君） のほうが早い、小回りがきくんかなと。

委員（西村慎次郎君） ちょっと確認させていただくんですけど、分担は必要かなと思っっているんですけども、その分担の仕方を3つの調査事項で分担するのか、学校で分担するのかというのもあるって、現地の視察を考えると学校を分担して学校へ行ってこの幾つかテーマについてやるっていう形をされたほうが。AさんはこのテーマでA小学校に行って、BさんはまたBテーマでA学校へ、同じ学校へ複数人違う人が行くよりは、学校で分担してやる…

委員長（西田久志君） この3つのことを。

委員（西村慎次郎君） やる方法かなというふうには思っているんですけど、あとはモデル学校を何校か絞ってそこで重点的にやるという方法もあるとは思うんですけど。

委員長（西田久志君） 例えは、先ほど藤原委員が言われたように、施設整備の状況についてはこれを見てもわからんということになれば、例えはいじめ問題と生活環境調査、環境調査なんかはすごい出てました。いじめ問題に関する調査っていうのも、かなっていうんがあるんですけど、結局この資料をもとにしてある程度まとめて、それから学校をするのか、要するにまずはこれをまとめんことには、資料をまとめることが必要なんかなと思うんです。

委員（西村慎次郎君） 学校とか教育委員会にお伺いを立てるタイミングまでには、当然資料はまとめないといけないので、学校単位にそれぞれこっから拾える課題とか気になるところをピックアップして……。

委員長（西田久志君） 例えば、13学校区あってもそれを全てというわけには多分いかないのかなと。やっぱり先ほど言われた、ピックアップしてするのかと。それはどう思います。

委員（西村慎次郎君） 個人的には各学校いろいろ特色があるなというふうに思っていて、生徒の人数の規模感で分ける方法もあるとは思いますが、個人的には全学校を分担して行ったほうがいいのかと思います。見る方がいいと思います。

委員（藤原浩司君） ざっと3校ごとじゃな。

委員（大鳴二郎君） 私も、学校を何校か決めてリストアップして回るんなら回ったほうが、全部回るというたらちょっと大変でもあるし、できん可能性も強いので、何校か挙げてそこを2つの班に分けて、全員で行ったほうが僕はええと思うんですけど、そうすりゃ皆わかってええんだから。班に分けたらまた班で集まってどうじゃったというためのせにやいけんですけど、みんな行けば大体もうわかるんで、そのほうがええんじゃないかなと思うんですけど、学校は全部でなしに何校か絞って行ったほうがいいんじゃないかなと僕は思います。

委員（西村慎次郎君） 現実的にそうなるかなと思うんです。まず、机上で整理してみるっていう、そうしてくるとここでこういうことを聞きたい、この学校へ行ってみたいというのが何校か出てくるかなというふうに思うんで、そこへは現地視察というのを入れてみるというような形で、全校の分析はしたいと思います。

委員（宮地俊則君） 私も今副委員長から、西村委員が言ったように、班で分けて云々というのもどうかというふうな気がいたします。一応、全校のこの資料での整理をして、その中から小学校を何校ピックアップ、中学校を2校なら2校だけピックアップ、それで委員さん皆さんでそれぞれ1時間ずつでも行程を組んで全員で1日に、例えば3校ぐらい回るとか、日にちを変えてまた3校回る、計小・中合わせて6校ぐらいでお話を聞かせていただくという形でしていったほうが、また委員会内調整で自分のかかわってないものをあれこれ聞いてもなかなか本筋が見えてこないんじゃないかなという気がしますんで、行くんだったらこの3つのテーマを含めて、施設整備状況というのは、行ってその学校の、例えば先生方に聞いてわかるのかなというところもあるんですが、そこらあたりを絞り込んで行ってやったほうがいいのかと思います。

委員（西村慎次郎君） 施設状況が今いただいている資料からはほとんどうかがえないので

す。敷地面積とか運動場の面積ぐらいしかわからないので、そこはヒアリングシートとか質問表、こういう資料をくださいとかというのを投げかけて、現地全部は見れないと思うんで、そういうアンケート調査的なもの、アンケートというところであれですけど、要は耐震工事はほとんどできておるんですけど、耐震工事はできてますとか、今の築年数とか、施設マネジメントとか、この間視察したような内容が分析できるような資料提供というのも、今後課題提出する中の全校のまとめの中でそういう質問事項を投げさせてもらってというのはしたいなというふうに。

委員長（西田久志君） はい、それじゃちょっとまとめる意味で、まずこの机上での委員会でのまとめです。先ほど教育委員会から出していただきましたものにつきまして、まとめることについては個人的にするか、それかそれとも2人、3人でつくってするか、どうでしょうか。要は、ここでさあそれでは始めましょうかということでもみんなで協議するか、改めてこれを皆さん自分なりにつくってまとめて持ってくる、それをみんなで協議するかです。

委員（大鳴二郎君） ちょっとこの資料を読んできてまとめるとはどういう、今言う3つの中に当てはまるのをリストアップするということ。この今調査目的の3つのあれに、これがこの中で当てはまるものを上げて、この学校はこういうことがあるということを上げるといふこと。どういう、委員長が言われるのはちょっと。

委員長（西田久志君） 調査をするわけですが、施設整備状況の調査、それから2ははじめの問題に関する調査、3が生活環境調査です。その中で、資料提出していただいた中をまとめるということなんですけれど、井原市の小学生、中学生はこうだということを出していくわけですから分析です。

この1番から3番についてを委員会の中で、個々で協議するというご意見が出ましたが、それで結構でしょうか。それで、それぞれについて各委員の質問したいところを考えてきていただきたいというふうに思いますが、どうでしょうか。

委員（西村慎次郎君） 最終形ゴールをまとめとしてどうするんかというところでいきなり質問だけでいいのか、この資料から課題があって、この課題の解決のためにこういう質問をしたいというまとめ方をしたほうが後の最終提言になるんか、報告になるんかわかりませんが、まとめるときに委員会としてどういう課題、問題があるかという、そういう整理は要らないですか。

委員（宮地俊則君） 私も、当然ながら今西村委員の言うとおりに思います。だから、さっき申し上げたのもそういう思いでこれを見る中で、自分としてこういう課題があるんじゃないかなという想定をして、こういう質問をこういう学校にお尋ねしてみたいと。一律的なものじゃなくて、自分で課題を持ってここに課題を想定してそれを持った質問をつ

くっていただければいいんじゃないかなと思います。

委員（藤原浩司君） いいんじゃないですか。

委員長（西田久志君） 自分で課題を持ってということです。その質問を考えるということ。

〈なし〉

委員長（西田久志君） それでは、次回の委員会ということになります。

委員（宮地俊則君） それと、今言ったんですが、特に2と3についてはこれからかなり見て自分なりに読まれていけば課題が見えてくるところが、気づくところがあるんじゃないかと思うんですけど、1の施設整備状況、本当のベースのベースになろうかと思うんですが、それが要るんだったら教育委員会のほうに今ある中での資料で学校の規模、いつできた、面積、耐震状況もろもろ、お聞かせ願える範囲での資料をちょっといただく必要があるんじゃないでしょうか。

委員（宮地俊則君） 各学校の学校要覧があります。

委員長（西田久志君） あれでええんじゃないん。

委員（宮地俊則君） あれでほとんどいつ設立されたか、建物の形状、面積、児童数が出てるんで、それはもうすぐ、見やすいことだと思うんですけど。

委員長（西田久志君） 要覧でいいということですか。

委員（西村慎次郎君） ICT環境もどういう環境になつとるかせつかくなんで。

委員（藤原浩司君） それは、西村君が言やあええ、この委員会で。言ってくれりゃええと思う。

委員長（西田久志君） 整備状況とはまたちょっと違います。それは言っていただければいいと思います。

それでは、次回の委員会までに皆さんで考えていただくということで、次回の委員会を。

皆さんにちょっと提案するんですけど、8月11日前後という思いがあるんですけど。

委員（藤原浩司君） 盆前に。

委員長（西田久志君） はい。どうでしょうか、11日で。

委員（藤原浩司君） 月曜日、ええです。

委員長（西田久志君） そのときには、次長、これを専門にできますよね。今のこの所管事務調査のことについて。

議会事務局次長（岡田光雄君）　そうですね、はい。専門というかそれになります。

委員長（西田久志君）　時間を。10時から。ちょっと早目がいいですね。9時半。

委員（大鳴二郎君）　11日。

委員長（西田久志君）　11日、月曜日。

それで、全般的にもう一度8月中に必要なんかなとも思ったり、9月の議会は後半ですけど、もう一、二遍程度はしたほうがいいではないかなとは思ってます。これは、もう今思ってるだけでございますので。

〈異議なし〉

委員長（西田久志君）　以上で所管事務調査事項については終わります。

〈その他〉

委員長（西田久志君）　次に、4、その他でございますが、委員会の行政視察の決算についてご報告申し上げます。

決算の状況はお手元にお配りしております決算書のとおりでございます。

議会事務局次長（岡田光雄君）　先日の行政視察につきましてはご苦労さまでした。決算の状況をお手元にお配りしておりますとおりになりました。残金につきましては、1人当たり1万1,400円になりました。

以上です。お世話になりました。

委員長（西田久志君）　皆さんからご意見がございましたらお願いします。

〈なし〉

委員長（西田久志君）　ないようでございますので、閉会に当たり、議長何かございましたらお願いいたします。

〈議長あいさつ〉

委員長（西田久志君）　以上で総務文教委員会を閉会いたします。

〈市民の声を聴く会での意見、要望等について〉

番号	地区	内容	回 答
1	大江	私は何年か先に大江幼稚園に預かり保育をお願いしたいと思っておりましたが、夏休みの預かり時間が8:30~17:00と聞いて、正社員で働く親にはちょっと厳しいなと感じた。預かり時間を検討していただけないでしょうか。	幼稚園の預かり保育の受入時間につきましては、保護者等の相談を受けて、受入時間を早めるなど個別に対応することとされておりますのでご了承願います。
2	大江	立派な大江公民館を造っていただいた。1~2か月利用させていただいているが、T字路に向かって道路は高くなっており、公民館駐車場との段差がついている。自転車で来られた方は、正門の入口まで回って来て、駐輪場に自転車を停めている。出入りが不便だと感じているところである。駐車場と路面の高さを同じにし、安全に通れるようにしてほしい。	担当課に問い合わせしましたところ、駐車場と県道路面の高さにつきましては、県道改良工事の完成後(平成27年3月末完成予定)に、検討してまいりたいと考えていますとのことですが、議会としても利用者の安全安心のため注視してまいりたいと思います。
3	大江	「お知らせくん」について、公民館からの案内は聞き取れるが、朝夕の定期便の音が聞き取りにくい。同じボリュームで聞いているが、声の大きさが違う。定期便の声の大きさが大きくなるか。	ご質問の定期便と公民館等からの放送(一般放送)の音量を同一のものにするについては、現行のシステムでは対応することができません。 音量に差異が生じる理由としては、定期便はシステムにより音声入力することで一定の音量に設定しておりますが、一般放送は公民館関係者・イベントの主催者等が個々に肉声で録音する為、声量等の関係で音量に差異が生じてしまいます。 改善の為の対応として、一般放送を録音する際には、過去に録音したものと聞き比べを行い、出来るだけ定期便の音量に近い状態で放送できるようお願いしているところですが、今後も周知に努めてまいります。

番号	地区	内容	回 答
4	芳井	小学校の給食費の無料化をお願いしたい。	<p>学校給食に要する経費については、学校給食施設・設備に要する経費、これらの修繕費、人件費に要する経費は学校の設置者の負担とし、それ以外の学校給食に要する経費を保護者負担とすることが学校給食法で定められています。さらに施設・設備以外の給食に要する燃料費や光熱水費も市が負担しています。本来食費が一般的には個人の負担に帰すべきものであり、本市では保護者負担とされている学校給食費は、食材費としてお願いしており、保護者負担とするのが適切と考えておりますので、ご理解をお願いします。</p>
5	芳井	<p>共和小学校の体育館について 天井の梁が剥げてきている。共和小学校は土石流の危険区域にもなっている。先日、震度4の地震があったが、到底そういう場所へ避難するというのはあり得ない。改善をお願いしたい。</p>	<p>担当課に問い合わせしましたところ、「共和小学校体育館の改修につきましても、以前より要望をいただいているところでございます。ご承知のとおり、本市の学校教育施設は老朽化により、修繕が必要な施設も多く、これまで、計画的に修繕工事を実施してまいりました。そうした中、本年度につきましても、施設の延命化を図る観点からも、雨漏り防止のための屋根等の防水工事を最優先に実施することとしており、共和小学校体育館におきましても、屋根等の防水工事を施工しているところでございます。ご指摘のとおり、梁の塗装が一部剥離し、フローアへ落下していることも承知しておりますが、構造上、梁本体の強度に問題はございませんので、ご理解を賜りたいと存じます。」</p> <p>また、避難所のことにつきましては、「現在、本市では、幼・小・中学校や公園、公民館などの公共施設143か所を避難所として指定しております。ご指摘のとおり、共和小学校は土石災害警戒区域に隣接しておりますが、避難所の安全性は災害の種類や発生場所、現地の状況等により異なるため、一つの避難所ですべての災害に対応できるものではなく、その時の状況によりケースバイケースで判断し、より安全性の高い避難所への避難が必要となってくると考えられます。従いまして、共和小学校も、災害時に利用できる避難所の一つとしてご認識いただき、いざという時のため、平時より避難場所や避難経路などについて地区住民の皆さままで話し合っただき、様々な状況を見越した準備をしていただくことが大切であると考えます。」とのことで、建物としての安全性に問題はないということですのでご理解をお願いします。</p>

番号	地区	内容	回 答
6	芳井	<p>アスワの駐車場の件で、芳井支所長と建設課(●●さん)へ話をしたら、それは良いことだということになって、市の方で話を進めてくださいという話になっています。</p> <p>アスワのすぐ隣に田んぼがあって、全く物を作っていない状況で、約2500㎡ある。駐車場に使ってくれたら無料でも良いということだが、そういうことを議会の方から市へ言っていたか。検討してみてください。</p>	<p>芳井生涯学習センターと健康増進福祉施設「あすわ」の利用者の駐車場として、現在、「あすわ」の敷地内に22台(内身体障害者用2台)、芳井生涯学習センターに普通車約100台の駐車場があります。</p> <p>生涯学習センターで大きな行事が開催される場合は、芳井中学校・小学校の運動場を仮の駐車場にするなどして対応しておりますが、通常時においては、現在の駐車場で十分であると考えます。</p> <p>今回お尋ねの事案につきましては、今後の検討課題とさせていただきます。</p>
7	芳井	<p>「でんちゅうくん」の経済効果をどのように思われているか。ゆるキャラグランプリへ初めて参加され、1500体中74位でしたか、大健闘だったと思う。でんちゅうくんを中心にいろいろな施策を展開されてはと思う。</p>	<p>グッズは、田中美術館で販売しているもののほか、市内事業者や市外・県外事業者が企画し、販売しているものがあります。</p> <p>販売実績は、事業者の全てが売上額をオープンにしているわけではないので、分かる範囲での回答になりますが、井原市が把握している1年間のグッズの販売実績は、田中美術館と市内事業者4社の合計で、約500万円となっております。</p> <p>今後も「でんちゅうくん」を中心にいろいろな施策を展開してまいります。</p>
8	井原	<p>10月5日に井原市民体育祭がありますが、市の体育祭ということで、近くの駐車場が全然足りない。皆が参加する形に出来ないか。シャトルバスを何力所から通わすことは出来ないか。花火大会についても、近くに駐車場が無い。商工観光課にも相談しに行った。</p>	<p>市民体育祭の駐車場につきましては、皆様にご不便をおかけしており、大変申し訳なく思っております。駐車場が不足する原因として、各地区からの送迎バス乗降場として野球場駐車場を専用としていたことがあげられますが、今年度、送迎バス乗降場の見直しを行い、野球場駐車場を一般の皆様開放することいたしました。このほかにも出部小学校運動場を臨時駐車場としておりますのでご利用いただきたいと思っております。</p> <p>また、地区の皆様におかれましても、送迎バスの利用や乗り合わせでのご来場にご協力を頂くことにより、駐車場の問題は解消できるものと考えており、現段階では、送迎バスの運行につきましては考えておりませんのでご理解をいただきたいと思っております。</p>

番号	地区	内容	回 答
9	井原	<p>四季ヶ丘の報酬金(20万円)に対して、どう思われますか。何故、四季ヶ丘だけなのか。他のところは何故だめなのか。住む人ではなく、仲介人に出すということなのである。何故、仲介人に出さんといけないのか。</p>	<p>四季ヶ丘団地については、井原市土地開発公社が造成し、平成17年から10年間で完売を目指して分譲を開始しました。202区画完売に向け鋭意努力し、最終目標年である今年、残り24区画となりました。</p> <p>井原市土地開発公社では、更なる早期完売施策に取り組むこととしており、その1手法として、「分譲地購入者紹介報奨金」制度を設けたものです。</p> <p>なお、土地購入者には、7つの手厚い補助金制度を設けています。</p>
10	稲倉	<p>大規模なメガソーラーの促進はやっていないのか。美星でやっているのは知っているが、大江の残土地などには適しているのではないのか。議員として何か認識はあるのか。</p>	<p>井原市では、2014年度から2020年度までの7年間で推進期間とする、「井原市再生可能エネルギー推進ビジョン」を策定しており、その中で遊休地等への太陽光発電設備の普及を推進することとしています。また、大江の残土処理場につきましては、第1期分の保安林を除く部分については、大江地区の多目的広場として有効に活用いただいております。第2期分の処理場については、今後、有効な利用方法について多方面の意見を伺いながら検討していくこととしております。</p>

番号	地区	内容	回答
11	稲倉	文学賞は、毎年1回募集しているが、年々減少している。(平成17年度116名、平成25年度8名)笠岡市などは夏休みの宿題としてやっている。井原市でも出来ないか。賞金などももっとアップしてはどうか。	<p>「井原市文学賞」は、市民の文芸創作活動を奨励し、もって豊かな市民文化の振興を図ることを目的に、井原市文学賞実行委員会の主催により、昭和61年より開催され、本年度第29回目を迎えます。</p> <p>開催当初、短歌・俳句の2部門で始まりましたが、現在は、短歌・俳句・現代詩・漢詩・川柳・随筆の6部門に増え、平成17年度の応募者数は88名、平成25年度の応募者数は90名でした。</p> <p>また、小中高生を対象とした「児童・生徒文芸大会」は、井原市文化協会の主催により平成3年より開催されており、短歌・俳句・川柳の3部門で、例年4, 500名を超える応募がございます。</p> <p>今年度より、「井原市文学賞」と「児童・生徒文芸大会」を合わせて「井原市文学賞(一般の部)(児童・生徒の部)」として募集を行うこととなり、これにより、より一層の相乗効果が生まれるものと期待いたしております。</p> <p>副賞等の内容につきましては、実行委員会の限られた予算内で事業を行っていることから、ご理解をいただきたいと思っております。</p>
12	稲倉	通学路について、橋(稲木川にかかっている)に手すりがないので付けてもらえないのか。何故、これまでに無いのか。	<p>道路管理の担当課に確認したところ、通学路及び接続している橋について確認した結果、道路管理者で管理している橋については、個人の進入路を除き手すりは設置されているとのことでした。</p> <p>また、教育委員会へも確認したところ、通学路で稲木川に架かっている橋については、ガードレール、転落防止柵の設置をしております。1カ所ガードレール等設置していない橋がありましたが、個人の占有物件であり、通学路ではありませんとのことですのでご了承願います。</p>
13	野上	市内公共施設に防犯カメラは何台あるのか。	防犯カメラについては、公共施設(17施設)に69台設置しており、全てが施設内監視用で、外部の一般往来を対象とした防犯カメラの設置はございません。

番号	地区	内容	回 答
14	出部	<p>大きい都市ではありますが住民票の発行を駅でしている自治体もある。コンビニを利用する高齢者も多くおられるので先取りした考えで井原市においてもコンビニでの発行ができないのか。</p>	<p>コンビニ交付では住民基本台帳カードが必要となりますが、井原市ではカードを持っている人が約800人程度と少数であり、費用対効果の面からコンビニ交付は見送っております。しかしながら、平成27年度から始まる個人番号カードの普及状況を踏まえ、検討していきたいと考えています。</p> <p>(参考) 住民基本台帳カード発行手数料1枚1,000円 新規参入経費約3,500万円 年間の運営負担金等約400万円 コンビニ事業者への委託手数料1通当たり123円</p>
15	出部	<p>出部学校区の3本の道があるが、交通マナーが悪い。かなりのスピードで走る車がある。ゾーン30の地域にするとか、速度標識で下げるとか、工夫をしてほしい。早急な対策をしてほしい。</p>	<p>毎年、各学校に交通安全資材の配布を行っており、「注意・通学路」などの看板を配布しています。今後も地域の方々のご協力を得ながら、看板の設置や啓発を行っていきたいと思います。子供たちの安全を守るため、ドライバーの皆様のご協力をお願いいたします。</p> <p>また、制限速度の規制については、警察の管轄となりますが、井原警察署交通課へ確認したところ、「30km/時」規制の要望があれば、警察署へご相談くださいとのことです。</p>

番号	地区	内容	回 答
16	西江原	<p>前回この会に来た時に、固定資産税のことで言いましたが、20年前に7万円の土地を値切って5万3千円で買いました。現在3万円で買ってほしいが2万円だといわれます。それくらい実際の地価が下がっています。固定資産税の評価が2%や3%じゃない。何分の一になっています。それが5パーか6パーか7パーか定めておられますね。</p> <p>税源の3分の1ほどが固定資産税の収入だろうと思いますが、実際、固定資産の価値が何分の1とかになっているのに、いまだに数パーセント、しかも相続税とかきましてたとえば西江原で3反、4反持っていますと控除がありません。その他財産になると、それすべて相続税がかかります。引き継いでいくと、ずっと控除がない。</p> <p>前回のこの回でも、出席された議員に申し入れしましたが、「執行部に伝えておきます」と回答をいただいているのですが、何にもなっていない。</p>	<p>土地の固定資産税は、税額計算の基礎となる課税標準額に税率を乗じて算出します。この課税標準額のもととなるのが評価額です。このうち、宅地の評価額については、平成6年度から国が示す地価公示価格及び不動産鑑定士による鑑定評価から求められた価格の7割とされ、地域によっては急激に上昇することとなりました。この評価額の上昇による税負担の増加を避けるため、課税標準額は少しずつ引き上げていく仕組みとなっています。</p> <p>このため、課税標準額が、評価額に追いついていない場合は、地価が下がっても税額が上がることとなります。現在は、多くの宅地で、課税標準額が評価額に達していますので、地価の下落があれば、評価額を修正しており、それに応じて税額も下がっているところが多くなっております。</p>
17	西江原	<p>井原の海洋センターは月曜が休みで、息子は理容の関係の仕事をしている。したがって月曜は完全にシャットアウトなんです。僕もメタボ対策で活用させてもらって健康増進のため日々使わせてもらって日々感謝してるんです。しかし、理容関係の人はほとんど行かれないんだと、月曜に使いたいのに使えない、ASUWAがあるじゃないかと。ですが市の機関の方がリーズナブルな価格で使えるということで、そこらへんのことを潜在的に月曜にいかれないという方が他にもおられるかもしれない、なぜなのか、聞かせて下さい。</p>	<p>本市では、スポーツ施設の内、BG海洋センターや井原体育館など屋内施設については、休館日を月曜日としております。その理由としては、</p> <p>(1) スポーツ施設の利用状況をみると、1週間の内、平日では月曜日の利用者数が比較的少ないこと</p> <p>(2) 休館日が祝日等に当たる場合は、開館となります。月曜日は、他の曜日に比べて祝日等で休日となることが多いことから、開館日となることも多く、利用機会も増えることなどがあげられます。</p> <p>また、利用者の皆様に休館日を覚えていただきやすくするために、スポーツ施設の休館日を月曜日に統一してしておりますので、ご理解を賜りたいと存じます。</p> <p>なお、B&G井原海洋センターは21時まで開館しておりますので、ぜひ夜間でのご利用をいただきたいと思います。</p>

番号	地区	内容	回 答
18	西江原	<p>現実に行っている問題で●●●●●で事故というか事件が起きました、この問題は二件 一件は、授業中に子供がかかわって大変な状況を起こして骨折。一歩間違えると下半身まひになるんじゃないかと、親として孫として考えたときに非常に怖い。 数週間のちに先生も事件に合われた。このことについてどのように分析され、今後起きないようになされているのか。近くに●●●の問題も昨年度はたくさん出ていて、これを大事にしながらい原市の教育のモデルとして、これは岡山県でも高く評価され他県からも大変評価されている、となりでありながらこれがなぜ学びあい感化しあえないのか非常に深刻な問題じゃないのかなと残念に思っている。</p>	<p>諸問題が発生した場合の対応については、学校において、担任を含め生徒指導主事を軸とした生徒指導委員会などの組織を挙げて対応しており、ケースによっては、保護者会等を開催し、状況報告・説明し、協力を求めたり、教育委員会を含めた関係機関との緊密な連携のもとに対応しております。 個々の生徒が抱える課題をとらえ、ねばり強く、心に届く指導を続け、すべての生徒がよりよい大人に成長するよう支援をしてまいります。</p>

議会への提案について

回収場所	記入日	内 容
市役所 1階	6月15日	<p>井原市人口が昨年700人も減少していると新聞で知りましたが、それなら外部から呼んで来て井原にお金をおとしてくれることを考えたらどうでしょうか。井原運動公園、立派なものがありますが、その体育館北側駐車場の所に2階建ての宿舎を作り、食堂もあり、泊るには風呂もあり空調もありで年中使用出来るようにしたらいかがでしょうか。児童会館のようにクーラーしかないので春先は寒くて寝れません。</p> <p>何かにつけて井原は中途半端なことばかりしてきているのできちんとした物を作ってほしいと思います。</p> <p>トレーニングルームのレザーも早く修繕して下さい。</p>

回答(案)

継続協議